サポート情報記事

ポリシープレビューと無効な確認ボタンの問題を解決する

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

ソースと割り当てを確認する 4

閲覧チェックリストを確認する 4

状態固有のメッセージを確認する 5

症状に合った次の診断手順を選ぶ 6

長い待機とワークフローのブロックを区別する 7

役立つ情報を添えてエスカレーションする 7

ドキュメントのプレビューを表示できないことは、必ずしもポリシーの割り当てがないことを意味しません。同様に、確認ボタンが無効な場合は、閲覧条件、確認チェックボックス、氏名入力、または設定された書き込みサービスの準備が必要な可能性があります。従業員が正しい内容を読んでから確認できるよう、これらを別々に診断してください。

ソースと割り当てを確認する

従業員の割り当てからポリシーを開き、タイトル、バージョン、期限を確認します。**別ウィンドウで開きます** を選択して、同じアカウントでソースをテストします。別のウィンドウでもアクセスが拒否される、またはソースがない場合は、所有者に URL または権限の修正を依頼します。ポリシーハブへのアクセスがあっても、すべてのソースにアクセスできるとは限りません。

Office ファイル、PDF ファイル、埋め込みの SharePoint ページ、外部ページでは、プレビューの仕組みが異なります。外部サイトは別のウィンドウで正常に開いても、フレーム内の読み込みを拒否する場合があります。移動されたファイルや未対応のプレビューによって、埋め込み領域が空になることもあります。インターフェイスで操作できても、未読の内容を確認しないでください。

閲覧チェックリストを確認する

1 閲覧中は Policy Reader タブを表示したままにします。ブラウザーがドキュメントを非表示と判断している間は時間が加算されません。
2 コンテンツを開き、開く条件が満たされたことを確認します。
3 埋め込み SharePoint ページでは、コンテンツ領域の最後までスクロールします。領域に収まる短いページでは、手動でスクロールせずに条件を満たせる場合があります。
4 最低閲覧時間が設定されている場合は、その時間が経過するまで待ちます。
5 確認文を読んだ後、その横のチェックボックスを選択します。
6 氏名の入力が必要な場合は、サインイン中のアカウントに対応する名前を入力し、不一致がないか確認します。

ページ以外のコンテンツでは、ビューアーを開いてから少なくとも 30 秒、または設定された最低時間のうち長い方が経過すると、スクロール条件を満たせる場合があります。これは内部のスクロールを測定できないコンテンツ向けの代替処理であり、すべてのページを読んだ証拠ではありません。埋め込み表示に失敗した SharePoint ページには、このページ以外向けの代替処理は適用されません。



未完了の確認条件を見つける

状態固有のメッセージを確認する

ポリシーが割り当てられていないと表示される場合は、従業員の個人割り当て一覧に戻ります。割り当てのないライブラリプレビューは確認タスクではありません。カードの識別子だけで開いたポリシーは、意図した割り当てリンクとは異なる結果になる場合があります。

レビュー待ちの割り当てでは、通常の送信パネルの代わりにレビューに関するメッセージが表示されます。免除された割り当ては従業員の確認を待っていません。既存の受領証は記録済みの確認を表示します。レビュー案件は所有者が適切なワークフローで解決する必要があります。従業員がリーダーを繰り返し再読み込みしても、この状態は解除できません。

サービス書き込みが選択されている場合、サービス URL がない、または管理者の同意が記録されていないと確認がブロックされます。管理者は KB10525. ポリシーサービスに接続して自動通知を設定する方法 に従ってサービス設定を確認してください。正しい設定は必要ですが、その後のネットワーク要求の成功を保証するものではありません。

警告

進行状況表示と閲覧チェックは、理解度を証明したり、表示された正確なバイト列を独立して検証したりするものではありません。原因不明のエラーを消すだけのために制御を外さないでください。まず、アクセスできないコンテンツ、未完了の条件、サービスまたは割り当て状態の問題を区別します。

症状に合った次の診断手順を選ぶ

症状	次の手順
プレビューも別ウィンドウのソースも開かない	URL、ソースの存在、従業員のソース権限を確認します。
別ウィンドウでは開くがフレームは空白	すべてのアクセス権がないと判断せず、プレビューやフレーム表示を調査します。
開く条件は完了したが時間が未完了	リーダーを表示したまま、設定された最小時間を確認します。
インラインページのスクロールが未完了	コンテンツコンテナーをスクロールし、ページが実際にインライン表示されたかを確認します。
読書条件は完了したが送信できない	確認文のチェックボックス、入力名、現在の割り当て状態、サービス警告を調べます。
送信開始後に失敗する	読書制御を変更し続けず、保存経路と部分的な結果の可能性を調査します。

同じ従業員アカウントと割り当てで、該当する行を確認します。複数の設定を同時に変えると原因の条件が分からなくなり、意図した制御を弱めることがあります。ポリシーの制御を意図的に変更する場合は、試験用リーダーを再読み込みし、広く適用する前に結果の動作を確認してください。

長い待機とワークフローのブロックを区別する

すべての読書条件を満たしていても、割り当てが確認待ちのために従業員が送信できない場合があります。長く待ってもこの状態は解消しません。所有者が報告された問題に対応し、必要に応じて割り当てを再開するか、別の方法で解決する必要があります。

逆に、通常の割り当て済みタスクは、確認文のチェックや正しく入力されたプロフィール名だけを待っている場合があります。確認文を読んだ後にこれらの入力を調べ、無効なボタンをすべてサービス障害と見なさないでください。表示されたサービス設定警告は管理者の確認が必要ですが、後続のネットワークエラーは送信処理の調査対象です。

問題報告には、割り当てリンク、ソースの種類、正確な未完了条件、別ウィンドウのソースが機能するかを含めます。最近のソース、制御、バージョン変更も伝えてください。これにより、従業員に失敗した確認をむやみに繰り返させず、サポートがリーダーの読み込んだ内容と期待するポリシー状態を比較できます。

役立つ情報を添えてエスカレーションする

内容が従業員の職務と矛盾する、または合理的に確認できない場合は、状況に応じて **ポリシー担当者に質問する** または **閲覧確認できません – 理由を入力する** を使用します。ワークフローへの影響は異なり、KB10527. ポリシーについて質問する、または確認できないことを報告する方法 で説明しています。技術的な問題では、ポリシーと割り当ての識別子、ソースの種類、未完了のチェック項目、正確なメッセージ、ソースを別に開けるかを伝えてください。送信が開始してから失敗する場合は、KB10538. 確認の失敗と通知が届かない問題を解決する に進みます。